

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年10月11日
【四半期会計期間】	第49期第2四半期（自平成25年6月1日至平成25年8月31日）
【会社名】	株式会社フェリシモ
【英訳名】	FELISSIMO CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 矢崎 和彦
【本店の所在の場所】	神戸市中央区浪花町59番地
【電話番号】	(078)325-5555(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役コーポレートスタイルデザイン本部長 星 正
【最寄りの連絡場所】	神戸市中央区浪花町59番地
【電話番号】	(078)325-5555(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役コーポレートスタイルデザイン本部長 星 正
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第48期 第2四半期 連結累計期間	第49期 第2四半期 連結累計期間	第48期
会計期間	自平成24年3月1日 至平成24年8月31日	自平成25年3月1日 至平成25年8月31日	自平成24年3月1日 至平成25年2月28日
売上高(百万円)	21,130	20,204	43,251
経常利益(百万円)	624	156	909
四半期(当期)純利益(百万円)	311	69	410
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	254	140	652
純資産額(百万円)	26,184	26,575	26,583
総資産額(百万円)	40,829	40,850	42,005
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	31.61	7.08	41.65
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	64.1	65.1	63.3
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	179	596	1,616
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	425	2,226	3,110
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	297	151	300
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	15,714	16,652	15,061

回次	第48期 第2四半期 連結会計期間	第49期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年6月1日 至平成24年8月31日	自平成25年6月1日 至平成25年8月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(円)	20.98	4.32

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日～平成25年8月31日）におけるわが国の経済は、円安による輸出環境の改善や金融緩和等の経済対策により、緩やかな景気の回復がみられました。しかしながら海外景気の下振れ懸念等もあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、主力事業である「コレクション事業」の強化のため、顧客数の拡大と継続的關係性の構築を目指し、「しあわせ生活プログラム」や「長期お届け型商品」の開発を推し進めてまいりました。

顧客数につきましては、前述の「しあわせ生活プログラム」等の商品が好調に推移したことで、休止顧客数は改善されました。また、新聞広告やダイレクトメールによるキャンペーン強化や追加案内等により、8月度以降は改善が見られますが、当第2四半期連結累計期間につきましては、期首の顧客数が前年を下回ってスタートしたことで、新規顧客及び休止顧客からの獲得数が前年同期を下回ったことで、延べ顧客数は前年同期比で減少しました。

顧客の購入単価につきましては、大人の女性に洗練されたスタイルを提案するファッションカタログ『IEDIT（イディット）』、上質な日常着を提案する『SUNNY CLOUDS（サニークラウドズ）』等の婦人衣料品が、好調に受注を獲得したことで、購入単価は増加しました。

これらの活動の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、20,204百万円（前年同期比4.4%減）となりました。売上高が減少したことと円安の影響等で原価率が上昇したことで、返品調整引当金繰入額及び戻入額調整後の売上総利益は10,461百万円（前年同期比7.5%減）となりました。

売上高を品目別にみますと、服飾・服飾雑貨分野では、婦人衣料品は好調に推移しましたが、子ども服や身の回り品が減少したことで、服飾・服飾雑貨分野全体では前年同期を下回りました。生活関連分野では、「しあわせ生活プログラム」等の長期お届け型商品や食品が前年同期を上回りましたが、生活関連分野全体では前年同期を下回りました。

販売費及び一般管理費につきましては、延べ顧客数が減少したことで配送数が減少し、配送関連費用は削減されました。広告費に関しては、顧客数拡大のために広告出稿を強化したことで、ダイレクトメールの発送数を前倒ししたことで、前年同期より増加しました。その結果、販売費及び一般管理費は10,544百万円（前年同期比2.2%減）となり、営業損失は83百万円（前年同期は営業利益519百万円）となりました。

営業外損益では、為替差益等の営業外収益が240百万円となり、経常利益は156百万円（前年同期比74.9%減）となりました。税金等調整前四半期純利益は156百万円（前年同期比71.9%減）となり、四半期純利益は69百万円（前年同期比77.6%減）となりました。

(2) 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、商品及び無形固定資産が増加した一方、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末と比べ1,154百万円減少し、40,850百万円となりました。負債合計は、仕入債務の減少等により前連結会計年度末と比べ1,147百万円減少し、14,274百万円となりました。純資産合計は、前連結会計年度末と比べ7百万円減少し、26,575百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて1,591百万円増加し、16,652百万円となりました。

営業活動の結果減少した資金は596百万円(前年同期は179百万円の減少)となりました。これは主に減価償却費587百万円の計上に対し、仕入債務の減少額が1,241百万円となったことによるものであります。

投資活動の結果増加した資金は2,226百万円(前年同期は425百万円の減少)となりました。これは主に現在進行中の基幹システムの改修を中心とした無形固定資産の取得による支出894百万円の一方で、定期預金の純減少額が2,400百万円となったことによるものであります。

財務活動の結果減少した資金は151百万円(前年同期は297百万円の減少)となりました。これは主に配当金の支払による支出147百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,427,200
計	33,427,200

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年10月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,043,500	10,043,500	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	10,043,500	10,043,500	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成25年6月1日～ 平成25年8月31日	-	10,043,500	-	1,868	-	4,842

(6) 【大株主の状況】

平成25年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
矢崎 勝彦	京都市右京区	1,612	16.05
(有)樹福	京都市右京区嵯峨鳥居本化野町12 - 35	1,000	9.95
(有)目神山事務所	兵庫県西宮市甲陽園目神山町31 - 125	803	7.99
宮脇 恒	神戸市東灘区	411	4.10
宮脇 繁	大阪府箕面市	391	3.90
矢崎 和彦	兵庫県西宮市	295	2.93
子守 康範	神戸市垂水区	262	2.61
星 美佐	兵庫県西宮市	262	2.61
子守 康輝	大阪府豊中市	262	2.61
フェリシモ共創会	神戸市中央区浪花町59番地	257	2.56
計	-	5,559	55.35

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 180,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,860,400	98,604	-
単元未満株式	普通株式 2,700	-	-
発行済株式総数	10,043,500	-	-
総株主の議決権	-	98,604	-

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
株式会社フェリシモ	神戸市中央区浪花町 59番地	180,400	-	180,400	1.79
計	-	180,400	-	180,400	1.79

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,796	16,121
売掛金	3,511	3,256
有価証券	750	752
信託受益権	2,224	2,108
商品	4,880	5,355
貯蔵品	122	101
その他	989	923
貸倒引当金	63	66
流動資産合計	29,212	28,552
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,886	1,820
土地	3,984	3,984
その他(純額)	500	479
有形固定資産合計	6,372	6,285
無形固定資産	3,852	4,182
投資その他の資産		
投資有価証券	813	57
長期預金	500	500
その他	1,258	1,275
貸倒引当金	3	3
投資その他の資産合計	2,567	1,829
固定資産合計	12,792	12,298
資産合計	42,005	40,850
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,080	² 1,890
支払信託	7,620	² 6,596
未払法人税等	200	148
販売促進引当金	294	308
その他の引当金	316	350
その他	2,197	2,191
流動負債合計	12,709	11,485
固定負債		
退職給付引当金	2,351	2,407
その他	360	381
固定負債合計	2,712	2,789
負債合計	15,422	14,274

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,868	1,868
資本剰余金	4,842	4,842
利益剰余金	20,551	20,473
自己株式	385	385
株主資本合計	26,876	26,798
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	1
繰延ヘッジ損益	52	5
為替換算調整勘定	348	218
その他の包括利益累計額合計	293	222
純資産合計	26,583	26,575
負債純資産合計	42,005	40,850

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
売上高	21,130	20,204
売上原価	9,882	9,755
売上総利益	11,248	10,448
返品調整引当金戻入額	180	136
返品調整引当金繰入額	122	123
差引売上総利益	11,305	10,461
販売費及び一般管理費	¹ 10,785	¹ 10,544
営業利益又は営業損失()	519	83
営業外収益		
受取利息	13	9
為替差益	43	165
受取補償金	6	25
その他	40	40
営業外収益合計	104	240
営業外費用		
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	624	156
特別損失		
固定資産除却損	² 66	-
特別損失合計	66	-
税金等調整前四半期純利益	557	156
法人税、住民税及び事業税	305	130
法人税等調整額	60	43
法人税等合計	245	86
少数株主損益調整前四半期純利益	311	69
四半期純利益	311	69

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	311	69
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	0
繰延ヘッジ損益	27	57
為替換算調整勘定	26	129
その他の包括利益合計	57	70
四半期包括利益	254	140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	254	140
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	557	156
減価償却費	566	587
引当金の増減額(は減少)	61	106
受取利息及び受取配当金	13	9
売上債権の増減額(は増加)	538	264
たな卸資産の増減額(は増加)	182	443
仕入債務の増減額(は減少)	1,312	1,241
未払金の増減額(は減少)	186	97
その他	31	49
小計	4	432
利息及び配当金の受取額	23	16
法人税等の支払額	198	180
営業活動によるキャッシュ・フロー	179	596
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	650	911
定期預金の払戻による収入	50	3,311
有価証券の償還による収入	750	750
有形固定資産の取得による支出	34	29
無形固定資産の取得による支出	549	894
その他	9	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	425	2,226
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	2	3
配当金の支払額	295	147
その他	0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	297	151
現金及び現金同等物に係る換算差額	33	112
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	936	1,591
現金及び現金同等物の期首残高	16,651	15,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,714	16,652

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

減価償却方法の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 当座貸越契約

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。

この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
当座貸越極度額	1,000百万円	1,000百万円
借入実行残高	-	-
差引額	1,000	1,000

2. 四半期連結会計期間末日満期手形及び支払信託

四半期連結会計期間末日満期手形及び支払信託の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形及び支払信託の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
支払手形	- 百万円	130百万円
支払信託	-	2,184

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
広告費	3,295百万円	3,328百万円
運送費	1,348	1,351
給与手当	1,860	1,811
賞与引当金繰入額	216	213
減価償却費	565	586

2. 前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

固定資産除却損の主なものは、無形固定資産(ソフトウェア仮勘定)の除却損64百万円であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

・現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
現金及び預金勘定	14,441百万円	16,121百万円
信託受益権勘定	2,048	2,108
預入期間が3ヵ月を超える定期預金	775	1,577
現金及び現金同等物	15,714	16,652

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月29日 定時株主総会	普通株式	295	30	平成24年2月29日	平成24年5月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月29日 定時株主総会	普通株式	147	15	平成25年2月28日	平成25年5月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

当社グループは、服飾・服飾雑貨及び生活関連商品を中心とした通信販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、四半期連結貸借対照表計上額と時価との差額及び前連結会計年度に係る連結貸借対照表計上額と時価との差額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、企業集団の事業の運営において重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	31円61銭	7円08銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	311	69
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	311	69
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,863	9,863

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月11日

株式会社フェリシモ
取締役会御中

あらた監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 萩森正彦

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フェリシモの平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フェリシモ及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。